

M&A実務セミナー

M&A実行後の不測の事態について

～買収・統合後に発覚した想定外の事項に対する事前対策・事後対応

主催：デロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザー株式会社

2015.3.6.開催

＜対象部署：経営企画部門／法務コンプライアンス担当部門の担当者、管理者および責任者＞

近年、M&Aを行う日本企業が増え、企業にとってM&Aは身近なものになりつつあります。M&Aの成功ためには、その実行前に必要な調査や準備は当たり前に行われるようになりました。ただし一方で、M&A実行時には想定していなかった問題の発覚や企業イメージを損なう不祥事の発覚といった事例も少なくありません。事前にどれほど調査しても、想定外の事項が発覚する可能性はあります。重要なのは、そうした問題が発覚する可能性も見据えて、M&A遂行時における対応および発覚の後でどういった対応をすべきか想定しておくことにあると考えます。

今回、「M&A実務セミナー M&A実行後の不測の事態について」と題しまして、下記の内容のセミナーを開催します。今回は、弁護士の方をお招きし、法的な観点からも解説します。本セミナーは、M&Aを既に実行された企業だけではなく、今後ご検討されている日本企業にとっても、参考情報として役立てていただけるのではないかと思料しています。

開催時間	セミナー内容	講師等
14時00分～14時05分 (5分)	セミナー開催にあたってのご挨拶	デロイトトーマツ ファイナンシャル アドバイザー株式会社 萩谷 和睦
14時05分～15時05分 (60分)	M&A実行後に発覚した問題 ～事例を中心に ・ 近年のトレンド ・ 発覚した問題の影響	デロイトトーマツ ファイナンシャル アドバイザー株式会社 深山 治
15時05分～15時10分 (5分)	休憩	
15時10分～16時10分 (60分)	M&A実行後の問題発覚とその法的対応 ・ 経営統合の方法 ・ 発覚した問題の事例と法的対応 ・ 人事制度の統合時の留意点	大江橋法律事務所 小野 洋一郎 氏
16時10分～16時15分 (5分)	休憩	
16時15分～17時15分 (60分)	M&A実行後の問題発覚による財務的インパクトの把握 ・ 財務面の影響分析 ・ 財務モデル構築による分析の具体的手法	デロイトトーマツ ファイナンシャル アドバイザー株式会社 永松 博幸
17時15分～17時30分 (15分)	全体を通じたQ&A等	

※セミナー内容や時間配分、講師等に変更がある場合がございます。ご了承ください。

講師等の紹介



萩谷 和睦 | デロイトトーマツファイナンシャルアドバイザー株式会社 | 公認会計士 | パートナー

監査法人トーマツ(現・有限責任監査法人トーマツ)入社。東京事務所および横浜事務所にて上場会社やパブリックセクターの監査業務や多くの株式公開支援業務に従事。デロイトトーマツFAS株式会社(現・デロイトトーマツファイナンシャルアドバイザー株式会社)に移籍後、トランザクションサービス部門にて、ストラクチャー支援業務、各種デューデリジェンス業務等を提供。現在は同社のトランザクションサービス部門の責任者であり、M&Aライフサイクル全般に亘るさまざまなクライアントニーズに応えるため、デロイトおよびトーマツのリソースをコーディネートし、ソリューションを提供している。



深山 治 | デロイトトーマツファイナンシャルアドバイザー株式会社 | ヴァイスプレジデント

2007年より、監査法人系FA会社にて、デジタルフォレンジック部門に所属。各種不正調査、ITデューデリジェンス、IT監査等に多数従事。2009年より、証券取引等監視委員会に出向し、特別調査課デジタルフォレンジックチームに所属。情報技術専門官および証券取引特別調査官として20件以上のインサイダー取引、粉飾事案、株価操縦事案等の犯則事件調査に携わる。その後、最高検察庁からの要請により、東京地検特捜部に異動。

主任捜査官として東京地検の現場捜査にデジタルフォレンジック専門家としてカルテル、脱税事件等に携わる。また最高検察庁事務官の立場として全国検察庁のデジタルフォレンジック体制の整備およびの人員教育指導に当たる。2013年より現職。



小野 洋一郎氏 | 大江橋法律事務所 | 弁護士 | パートナー

2005年に弁護士登録。大手都市銀行への出向などを経て、2013年米国NY州弁護士登録。大企業・中小企業を問わず、多くの企業再編・M&Aに従事し、かかる業務を中心に、一般企業法務(会社法等)、ファイナンス等を取り扱う。また、シンガポール大手のDrew&Napier法律事務所に出向した経験を踏まえて東南アジアを中心とした海外進出・海外投資・国際取引なども専門としている。



永松 博幸 | デロイトトーマツファイナンシャルアドバイザー株式会社 | シニアヴァイスプレジデント

1996年都市銀行入行、本部にて企業オーナー向けコンサル業務に従事した後、2000年より四大監査法人系コンサルティング企業でM&Aアドバイザー業務に関与。その後2005年より大手外資系投資銀行にてM&A業務および資金調達業務を手がけ、特に大規模なバイアウト案件やクロスボーダー案件について豊富な知識と経験を有する。2012年10月に当社参画、M&Aアドバイザー業務、企業価値評価業務、デューデリジェンス業務、税務ストラクチャリング業務等に従事。

- 開催日 2015年3月6日(金)
- 時間 14:00 ~ 17:30 (受付開始13:30~)
- 会場 東京都千代田区有楽町1-7-1 有楽町電気ビル北館 17F(有楽町電気ビルセミナールーム 17-06)
- 参加料 無料 ※ご参加が確定次第、受講票をお送りいたします。
- 定員 70名(1社2名様程度まで)

※お申込が定員を超えた場合には、お断りする場合がありますので、ご了承ください。

- 申込方法 以下のURLからお申し込みください。

<http://www.deloitte.com/jp/semi2177>

- お問い合わせ先

デロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザー株式会社 セミナー事務局

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-3-1 新東京ビル

Tel: 03-6213-1180 / E-mail: dtfa.koho@tohmatu.co.jp

トーマツグループは日本におけるデロイト トウシュ トーマツ リミテッド(英国の法令に基づく保証有限責任会社)のメンバーファームおよびそれらの関係会社(有限責任監査法人トーマツ、デロイト トーマツ コンサルティング株式会社、デロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザー株式会社および税理士法人トーマツを含む)の総称です。トーマツグループは日本で最大級のビジネスプロフェッショナルグループのひとつであり、各社がそれぞれの適用法令に従い、監査、税務、コンサルティング、ファイナンシャルアドバイザー等を提供しています。また、国内約40都市に約7,800名の専門家(公認会計士、税理士、コンサルタントなど)を擁し、多国籍企業や主要な日本企業をクライアントとしています。詳細はトーマツグループWebサイト www.deloitte.com/jp をご覧ください。

Deloitte(デロイト)は、監査、税務、コンサルティングおよびファイナンシャル アドバイザーサービスを、さまざまな業種にわたる上場・非上場のクライアントに提供しています。全世界150を超える国・地域のメンバーファームのネットワークを通じ、デロイトは、高度に複合化されたビジネスに取り組みクライアントに向けて、深い洞察に基づき、世界最高水準の陣容をもって高品質なサービスを提供しています。デロイトの約200,000名を超える人材は、“standard of excellence”となることを目指しています。

Deloitte(デロイト)とは、英国の法令に基づく保証有限責任会社であるデロイト トウシュ トーマツ リミテッドならびにそのネットワーク組織を構成するメンバーファームおよびその関係会社のひとつまたは複数指します。DTTLおよび各メンバーファームはそれぞれ法的に独立した別個の組織体です。DTTL(または“Deloitte Global”)はクライアントへのサービス提供を行いません。DTTLおよびそのメンバーファームについての詳細は www.deloitte.com/jp/about をご覧ください。